



やまゆり



2005年(平成17年)10月発行

日本ボーイスカウト神奈川連盟

112



平成17年度 神奈川連盟海外派遣
マタグアイ派遣 2005 報告
平成17年8月6日～17日
米国カリフォルニア州サンライサベル
マタグアイ スカウトキャンプ場

今回のスカウト達の目標は、「英語での生活やスカウト技能のスキルアップ」であった。しかし実際は英語での生活は、スカウト達には難しかったらしく、最初はなかなか話せないでいた。

それでもチームワークを発揮して、なんとか大丈夫なようだった。スカウト技能の方は菊、1級スカウトだけあって、充実したスキルアップになったと思う。(上級班長 肥沼 哲史)

Go! Scouting

日本ボーイスカウト神奈川連盟

マタグアイ派遣 2005

12名のスカウトと上級班長を含む4名のリーダーが参加した「マタグアイ派遣2005」エキサイトでチャレンジングなプログラムを全員成し遂げ8月17日に無事帰国しました。



班	名前	地区	団	学年
誠班	班長 杉山 遥	江南	平塚3団	中3
	次長 永田 達朗	県央	相模原9団	中2
	大吉 岳	江南	平塚3団	中2
	相原 亮一	湘北	秦野1団	中3
	蓮沼 直也	県央	相模原9団	中2
鯨班	橋本 敬嗣	横浜	横浜58団	中2
	班長 水谷 彩	江南	平塚3団	中3
	次長 藤田 康平	県央	相模原9団	中3
	葛西 寛司	江南	平塚4団	中2
	早川 和希	横須賀	横須賀18団	中3
指導者	村松 隼斗	県央	相模原9団	中2
	岩尾 貴幸	横浜	横浜58団	中2
	上班 肥沼 哲史	横須賀	横須賀18団	高1
	隊長 野村 俊裕	湘北	秦野1団	BS 隊長
副隊長 羽牟 晋也	横須賀	横須賀16団	BS 副隊長	
副隊長 春日 智恵美	横浜南央	横浜87団	BS 副隊長	



<マタグアイ派遣 誠班班長 杉山 遥>

アメリカ人と話すのは、初めてで「上手く話せるか、相手に分ってもらえるのか。」と不安でしたが、とても気さくで安心しました。次、またアメリカに行くときには、今回同様にボーイスカウト仲間で行けたらいいなと思います。

<マタグアイでの体験 誠班 大吉 岳>

マタグアイキャンプ場の第一印象は「雄大」だ。参加したプログラム「アーチェリー」も楽しくて、あっという間に時間が過ぎた。キャンプ場での体験は、普段体験できないことばかりで、マタグアイに行ってきたと、改めて思いました。

<海外派遣報告 誠班 相原 亮一>

ホームステイ先で日本からのお土産を英語での説明が大変でしたが、めちゃくちゃな英語でも通じたので、日に日に楽しくなった。よって、充実した海外派遣ができたと思います。

次の海外派遣では、今回の経験を生かして色々サポートしたいです。

<マタグアイ派遣に参加して 誠班 永田 達朗>

キャンプ最終日のキャンプファイヤーで、練習してきたソーラン節を発表することになっていて、その紹介を僕が言うことになりました。なんとか紹介も噛まずにできて、ソーラン節も成功でした。いろいろな人と出会い、いろいろなことを体験した僕のマタグアイキャンプ場生活は感動でした。

<マタグアイ派遣に参加して 誠班 蓮沼 直也>

僕はアメリカでの訓練を体験し、生活に触れることを目標にしました。英語が得意でないので、どうやって交流すればいいのか不安でした。そんな不安は楽しさに吹き飛ばされ、訓練でのカヌー、swim テスト、アーチェリーなど楽しかったです。今回の体験のなかで今後活かされることがあれば積極的にアピールしたいと思います。

<マタグアイ派遣に参加して 誠班 橋本 敬嗣>

キャンプ場での食事の時にハイテンションなアメリカ人に英語で質問されましたが、意味がわからないので、全部適当にYESと答えました。ホームステイ先にはクリス家の息子のアルバート君と友達になり、一緒にゲームをして、すごく楽しかったです。別れの時はちょっと悲しかったです。

このアメリカの旅は、僕にとってとても良い経験になったと思います。58団の団委員長や、隊長、お世話になった皆さんに感謝したいと思います。



キャンプ場での活動内容 岩尾スカウトの報告より

- 1 日目(8/7) キャンプ場に到着し、場内探索
- 2 日目(8/8) 哺乳類学など生物に関するものを受講
- 3 日目(8/9) パイオニアリング、インディアンローワーを受講
パイオニアリングでは、結索法を英語名で知ることが出来た。
インディアンローワーでは、インディアンの歴史などを学ぶ
夜にハイクをし、マタグアイの歴史を知った。
- 4 日目(8/10) セッションなし
朝食後トライアスロンがあり、3名が出場した。
その後イベントが有り色々を楽しんだ。中には優勝も。
夜、サイクリングに出かけた。山道を下ったり上ったりした。
この日はテントではなく地面にグランドシートを敷き寝た。
- 5 日目(8/11) ウッドカービング、サバイバル、ポッテル(陶芸)を
体験した。サバイバルでは、木の枝や葉を使い簡易の寝床を
作った。ポッテルでは小さな湯のみを作った。
- 6 日目(8/12) この日はウォータドック(水泳)に行った。
セッションのスペースエクスプロレーション(天体)は少しのこと
しか分からなかった。カヌーやアーチェリーも体験した。
キャンプファイヤーではソーラン節を踊った。



日付	場所	時間	工程
8/6	スカウト会館	12:00	スカウト会館出発
	成田空港発	16:50	JALにて 日付変更線通過
	ロサンゼルス空港	10:45	
8/7	サンディエゴ	15:00	(ホテル泊)
	サンディエゴ	9:45	貸切バスにて移動
	マタグアイ	14:00	キャンプ場着
8/10			(キャンプ泊)
8/13	マタグアイ	9:00	キャンプ場出発
	サンディエゴ	13:00	(ホームステイ)
8/14	サンディエゴ	終日	(ホームステイ)
8/15	サンディエゴ	11:00	出発 バスで移動
	アナハイム	19:00	(ホテル泊)
8/16	アナハイム	10:00	バスで移動
	ロサンゼルス空港	14:30	JALにて 日付変更線通過
8/17	成田空港着	17:50	
	YCAT着	20:30	解散

<マタグアイ派遣に参加して 餃班班長 水谷 彩>

アメリカのスカウトは何事にも真剣で友情深く、また、ON と OFF の切り替えが上手かったです。私たちは行動が遅いなど反省点は多かったですが、ボーイスカウトの幅広さを実感できました。今回の吸収したものをフルに活かし、派遣に携わった方への感謝の気持ちを忘れないで、今後も活動を続けたいです。

<8・10 餃班 葛西 寛司>

8/10は最も思い出になった日だ。トライアスロンでは上位に入れなかったが、くもの巣状の紐をすり抜ける競技で優勝し、着衣泳は泳げないのでパス。頭にのせた水入り缶を5m前の缶に移す競技も行い、マタグアイ版綱引きは10分近い攻防の末優勝し、アーチェリーでは2位だった。星座観察でも感動し、その夜は興奮と感動で寝付けなかったです。

<初めてのアメリカの大地で 餃班 早川 和希>

アメリカのスカウトとコミュニケーションがとれず、目標で掲げた「友だちを作る」が最初は実行できませんでしたが、一日二日と経つうちに自然に友達が出来てきて、とても楽しかったです。

この二週間のマタグアイでの経験は、人との付き合いが言葉の関係なく、とても、大事なものになると感じました。

<マタグアイ派遣に参加して 餃班 藤田 康平>

キャンプ場では動物の勉強をしたり、強烈な雷が落ちて怖かったり、水のプログラムへ参加したり、マウンテンバイクを体験したり、ホームステイ先でうどんと味噌汁を作ったら喜ばれたり、アメリカ最終日になってあつという間に終わったって思いました。優しい人と面白い人がいっぱいいていい国だと思いました。

<感想文 餃班 村松 隼斗>

キャンプ期間中にとっても良いともだちを作りました。彼の名前は、エリックと言います。エリックとはよく話が合い、明るく元気な友達です。僕はエリックとメール交換をしています。

こんなに良い友達とめぐり合えて、とても感謝しています。これからも、メール交換を続けて、また会いに行こうと思います。

<派遣報告 餃班 岩尾 貴幸>

外国スカウトとの交流によりアメリカ文化を学ぶことが出来た。またアメリカスカウトのセッションと一緒に体験することにより、アメリカの進んだスカウト活動を学ぶことが出来た。

原隊ではまだ活動をしていないが、活動が始まったらどんどん、今回の派遣で培った力を発揮していきたいと思う。



さあ君も スカウトラリーに 参加しよう!

おもしろい
ゲーム
いっぱい!



世界ボーイスカウト運動100周年記念
ボーイスカウト 神奈川連盟 **スカウトラリー2005**

日時:平成17年11月3日(祝) 文化の日
※小雨決行

会場:小田原城址公園および二の丸広場
(JR・小田急線 小田原駅下車 徒歩10~15分)

対象:県内スカウト、指導者および保護者
一般参加者
(各団での見学者、入団希望者とその保護者および一般市民)

参加費:500円 **一般参加者は無料**

はばたけ未来へ

ときめき☆出会い☆友情の輪

プログラムの一例

木っ端で作ろう!

- 自分の楽器を作ろう!
- 動く工作物で駆け抜けろ!

リサイクルクラフト

- ペットボトル・空缶・牛乳パックで作ろう
- 攻略!リサイクル城**
- 再資源物質を使ったゲーム

みんなで息を合わせて
(団体縄跳び)

- 大波・小波
- 大回しー10回跳んで記念品ゲットだー

チーフリング作り

- 自分だけのオリジナルリングを作ろう
- うさぎのダンス**
- シーズン型コンパネに乗ってバランスをとろう

宇宙ブーメラン

- 厚紙でブーメランを作って飛ばす
- 宇宙からのメッセージ**
- 宇宙に関する〇×クイズー全問正解者に宇宙食の記念品贈呈ー

ドラゴンボールキーホルダー作り

- ガシャポンカプセルで作ろう
- ビー玉と紐で作ろう
- ドラゴンボールを探せ**
- めいろを通り抜けろ! 隠されたボールを捜せ!



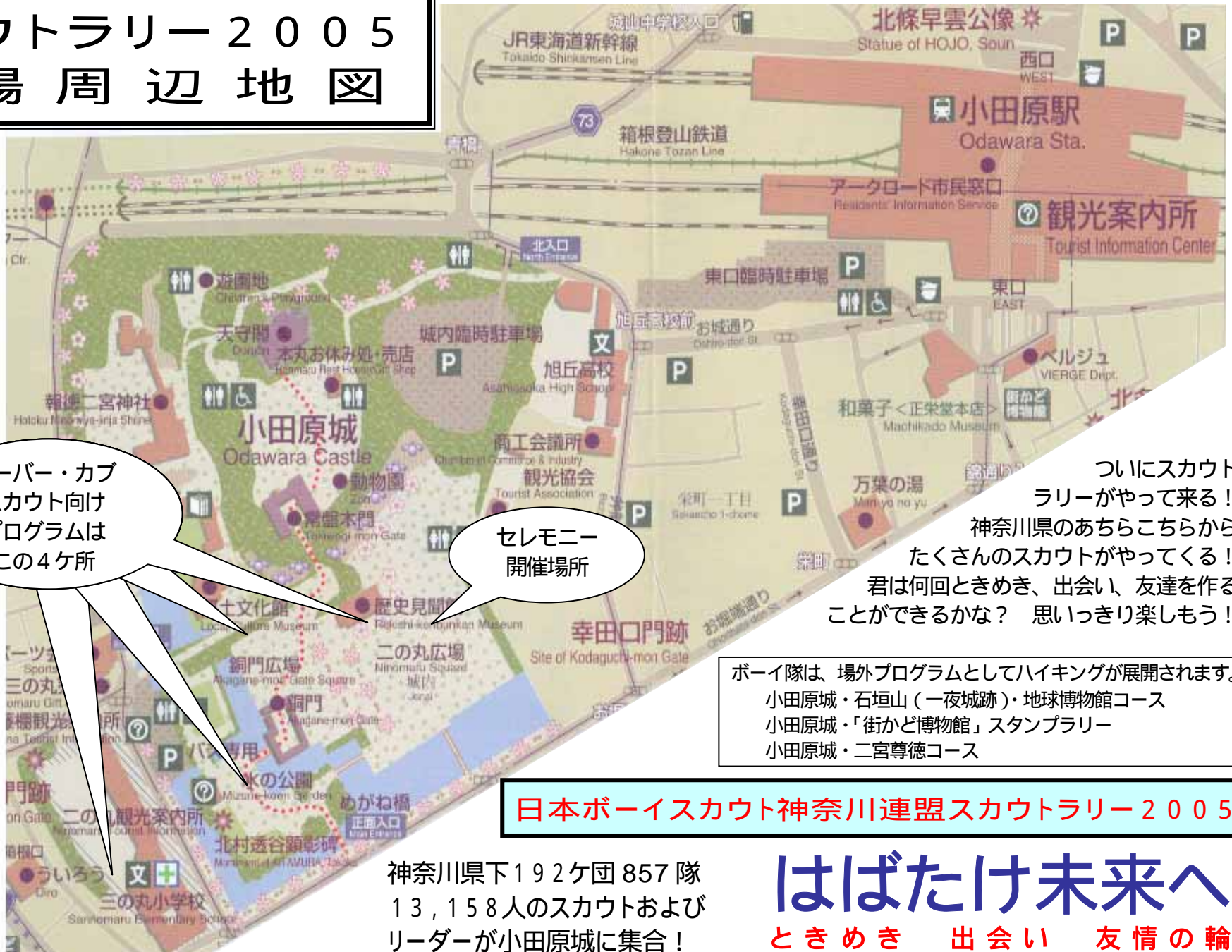
**今すぐ
カレンダーに
書き込もう!!**



スカウトラリー2005 会場周辺地図



世界スカウト運動
100周年記念



ビーバー・カブ
スカウト向け
プログラムは
この4ヶ所

セレモニー
開催場所

ついにスカウト
ラリーがやって来る！
神奈川県のおちらこちらから
たくさんのスカウトがやってくる！
君は何回ときめき、出会い、友達を作
ることができるかな？ 思いっきり楽しもう！

11月3日

8:00~9:10
入場開始・受付
9:30~9:55
セレモニー
10:00~
ラリースタート
15:00
ラリー終了
閉会セレモニーは
ありません

ボーイ隊は、場外プログラムとしてハイキングが展開されます。
小田原城・石垣山（一夜城跡）・地球博物館コース
小田原城・「街かど博物館」スタンプラリー
小田原城・二宮尊徳コース

日本ボーイスカウト神奈川連盟スカウトラリー2005

神奈川県下192ヶ団 857 隊
13,158人のスカウトおよび
リーダーが小田原城に集合！

はばたけ未来へ
ときめき 出会い 友情の輪

平成17年度 こども夢基金助成事業 <共催> 小田原市 教育委員会、財団法人 ボーイスカウト神奈川連盟維持財団、国立オリンピック記念青少年総合センター



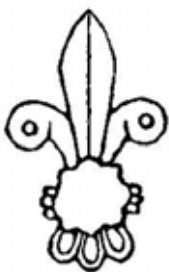
スカウト運動のなかで「三」には大きな意味があります。

スカウト運動の「三」でいちばん大切なのは「三つのちかい」です。

三つのちかい 名誉かけて ポーイスカウト おきて守り 人のために そなえよつねにと歌われるように「三つのちかい」はベィデンパウエル卿が少年たちのハートに託した「男らしい一生を送るためのヒケツ」だったのです。

人間として生まれてきた自分をふくめ、地球や大宇宙のすべてを産んだ創造主を敬い、自分の国を愛し、何ごとがあっても人々を助けて世の中に尽くせる心と身体をつくる これが世界中のスカウトに共通した「同じちかい」です。

ところが、この「同じ」をスカウト運動100年記念のワッペンでは「一つのちかい」となっているため、「三つのちかいなのに、なぜ一つのちかいと書いてあるの？」と頭をひねるスカウトや答えに悩む指導者もいるでしょう。しかしこれは、原文の *one Promise* を単純に「ひとつのちかい」と訳したからで、実際に「三つのちかい」を立てたスカウトやリーダーならば *one* を「ひとつ」ではなく「同じちかい」と訳せたにちがいありません。それにしても「三つのちかい」を守る手がかりとして「おきて」があることはありがたいことです。



最初のスカウト章



戦後のスカウト章



現在のスカウト章

日本で最初の戦前スカウト章は、B-P卿が日本のチーフスカウトと認められた北海道の日本健児団 下田豊松氏が考案した。その後、少年団日本連盟が結成され、戦前まで続いたスカウト章のモチーフは、日本の国を象徴する「三種の神器」つまり鏡・剣・璽(まがたま)だった。そして、戦後復活してからは、世界スカウト章と同じ3枚のユリの花びらを基本に「鏡」だけを日本のシンボルとして鏡を残した。



語り 矢島 巖
[神奈川連盟名誉会議員]

スカウト運動の身体で表す「三」は、なんといっても「三指の敬礼とスカウトサイン」です。また、左手三本指でする握手もありますね。

この三本指の敬礼やサインは、腕の角度は少し違ってもベィデンパウエル卿が始めたボーイスカウトとガールガイドだけの「しるし」です。

ガールガイドというのは「社会をひらく」スカウトという一人前の男性に対して「子供を産み育てる案内役(ガイド)」のことですから、三指の敬礼やサインができる人は心の中に「三つのちかい」が燃えている人、つまり私たちのことです。

太平洋戦争の最中、日本軍は敵国イギリスで生まれたボーイスカウト運動を嫌い、三指の敬礼をやめさせて軍隊と同じ五指の敬礼にしると強制しましたが、先輩の人たちはあくまでも「三指」のスカウト精神をつらぬくために、平和な世界がきて復活する日を夢見ながらスカウト運動の組織を解散しました。そして、今のように復活できたのは戦後5年もたった昭和24年(1949年)のことです。

このように、スカウト活動は楽しいことですが、そのためには自分が誓った「三つのちかい」を心と身体で示せる「そなえ」が大切なのです。

スカウト運動の「三」で形が見えるのは「スカウト章」です。世界中の仲間は自分たちにふさわしいスカウト章をもっていますが、「世界スカウト章」をそのまま使っている国々もあります。デザインの基本は3枚のユリの花びらですが、イスラム教の



世界スカウト章



サウジアラビアのスカウト章

国々などでは、デザインや意味のルーツがキリスト教と関係があるからと、ほかのマークになっています。また日本のスカウト章も今のは3代目で、初めの二つは日本国を象徴する三種神宝でしたが、戦後はユリと宝の「鏡」になりました。

森林愛護章取得(ヤビツ峠 下草刈り)実施

緑化推進事業の一環として、今年度もヤビツ峠にある我々の森にて下草刈りが行われました。あわせて森林愛護章取得に向けたプログラムが展開されました。



ローバーフォーラム実施される

平成17年6月25日(土)～26日(日)(一泊二日)にてスカウト会館で、新しい試みとして県連ローバーフォーラムが開催されました。「発見! ローバーの可能性」をテーマに県下ローバースカウトおよび、関東近県のローバースカウトも集まり、ローバー活動のきっかけ作りやネットワーク作りなどが行われました。



進歩状況

9月末現在

菊スカウト 38名(今年度累計)
富士スカウト 0名

スカウトの日活動状況報告(速報値)

参加:56ケ団 2,536名
缶トリー大作戦 47ケ団(空き缶 6,852 ペットボトル 2,314本)
環境に関する活動 14ケ団 敬老に関する活動 2ケ団
その他の活動 17ケ団

Information お知らせ

「スカウトフォーラム開催案内」

青年の参画を目指して、自分の意見をしっかり発言し、相手の意見を聞き、合意することによって自他共に成長することを目的にしてスカウトフォーラムを開催します。

1. 日時 平成17年11月26日(土)～27日(日) 受付10時 解散16時
2. 会場 川崎市黒川野外活動センター 小田急多摩線「黒川駅」下車 徒歩3分
3. 参加者 各地区から代表ベンチャースカウト5名の合計55名
4. テーマ 「持続可能な社会」環境・経済・社会・教育

第17回団運営研究集会「神奈川連盟団委員長の集い」開催案内

今年度で第17回を迎えます「団運営研究集会」では、県下の団運営者並びに関係者が一同に集い、今活動している私たち指導者は、スカウト活動の価値を再確認した上で、これからの進むべき道を見定め、団運営にいかに活用するかを研究し、団の発展に寄与することを目的として開催します。

1. 日時 平成17年11月23日(水)「勤労感謝の日」 受付9時40分 午前10時00分～午後4時30分
2. 会場 横浜農業協同組合 みなみ総合センター 横浜市営地下鉄「立場駅」下車 徒歩約5分
3. 参加者 団委員長、団委員等の団運営者、隊指導者、地区役員、県連役員
4. 内容
 - 第1部 基調講演 鹿野重氏(新潟連盟 副連盟長)
「スカウティングの永遠を信じますか」
 - 第2部 課題研究(グループ別討議)
「スカウティングの基本と団の運営のため、何をしなければならないのか」
 - 第3部 懇親会

〔発行〕2005年10月21日

〔発行人〕日本ボーイスカウト神奈川連盟 佐野友保

〔編集人〕神奈川連盟 総務委員会広報担当 坂本健

〔印刷所〕(有)コサカ印刷 藤沢市善行3-6-11

〔事務局〕〒241-0815 横浜市旭区中尾町2-1-14

スカウト会館 045-365-3421 Fax045-391-3422

KANAGAWA Scout Council. SAJ 発行部数 18,000部

知っていますか？

皆様方の暖かいご声援を受け、宇宙での船外活動を完璧にやり遂げ、8月9日に地球に無事帰還した野口聡一宇宙飛行士は小学校3年生からボーイスカウト活動を始めた、ボーイスカウトの仲間です。宇宙ステーションから全国のスカウト達にメッセージを送っていただきましたのでご紹介します。



ボーイスカウトの皆様

宇宙飛行士の野口 聡一です。

我々のスペースシャトルSTS-114ミッションを応援していただきありがとうございました。

長い間一緒に訓練してきた仲間と力を合わせて、難しい任務を成功させることができ、とてもうれしく思っています。

チームワークが重要なのは、ボーイスカウトでも宇宙でも同じです。

そぞよつねにの精神で、皆さんもボーイスカウト活動を楽しんでください。

日本に戻った時に皆さんにお話するのを楽しみにしています。

2005年8月6日

国際宇宙ステーションにて
宇宙飛行士 野口 聡一

写真・資料提供
JAXA 宇宙航空研究開発機構
NASA 米国家航空宇宙局



ボーイスカウト募集中!!

今、子どもたちにとって大切なもの 一緒に育みませんか？

自然の中で大きく育つ自立と、友情と、奉仕のこころ。

- 友だち遊び、技能を学ぶ楽しい一日
- キャンプやパーティなどイベントがいっぱい
- 奉仕活動で、人の役に立つことの大切さを学ぶ
- 経験豊かな指導者が見守っています。
- 世界のスカウトが集う日本/世界ジャンボリー
受験勉強だけでは、決して学べないものがここにある。

小学校就学前9月より
いつでも入れます!



忘れていませんか？ 子どもたちに本当に大切なもの。

いま、子どもたちにとって必要なのは、自然を愛し、他人を思いやるやさしい心です。自分で考え、行動できる自立心と創造力です。ボーイスカウトは、忙しすぎる時代の子供たちが忘れかけた、人間の成長に一番大切なものをしっかり育んでくれます。

きみも仲間 Since 1907

ボーイスカウト創始者
ベーデン・パウエル卿



お問い合わせはお気軽に

☎045-365-3421 ボーイスカウト神奈川連盟

10:00~16:30 (日・月曜日 休み)

www.scout-kanagawa.org/